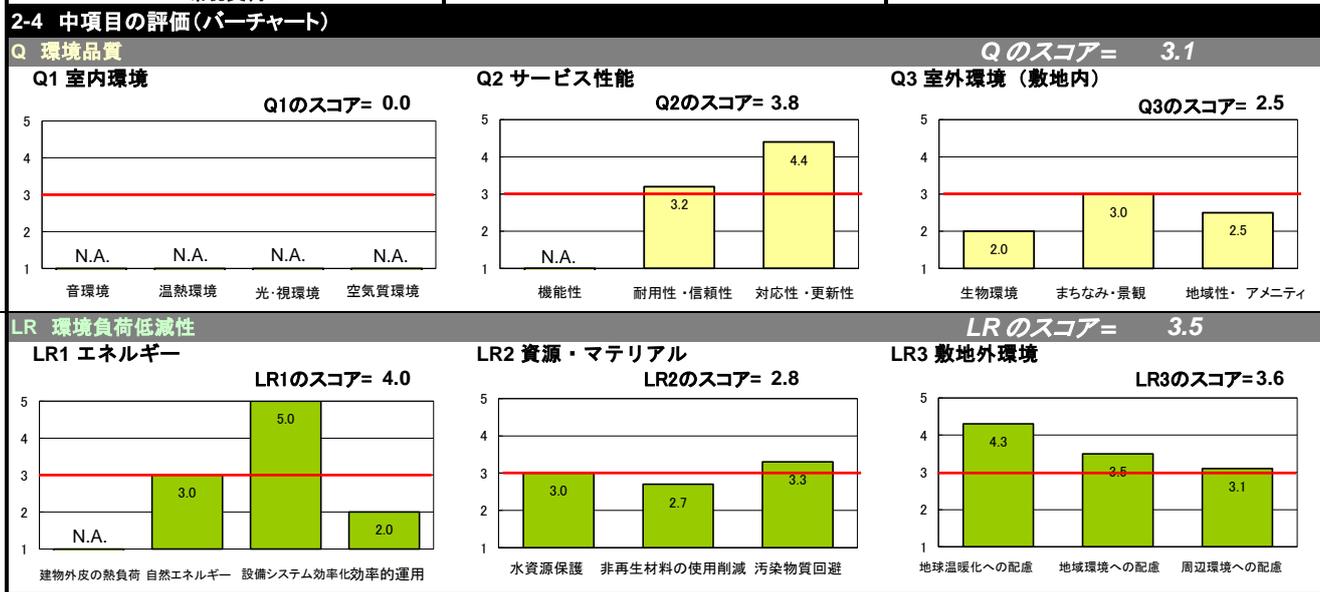
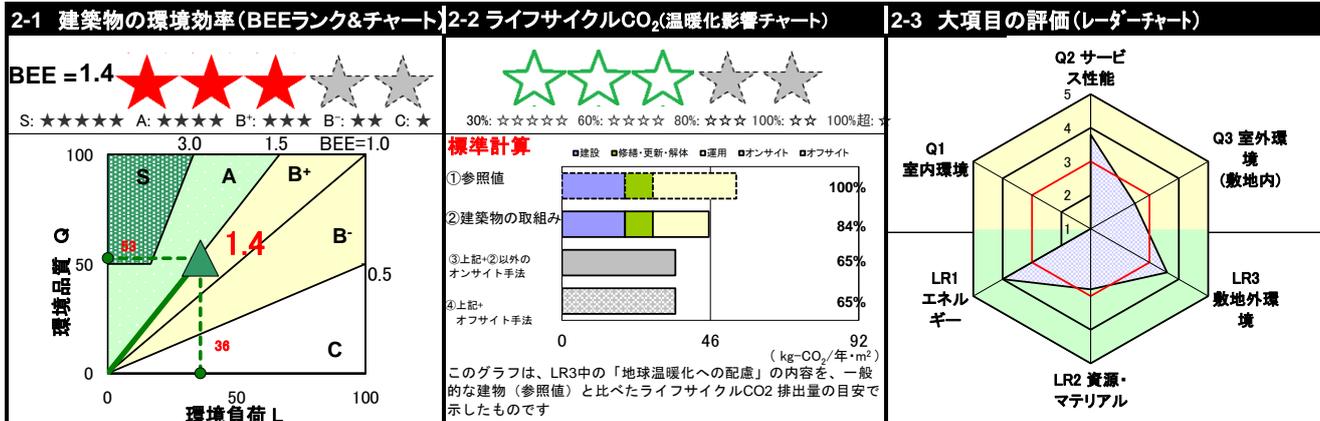
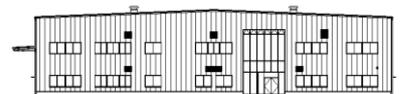


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)機械システム新工場	階数	地上2F
建設地	大和市中中央林間七丁目1742番23 ほか1筆	構造	S造
用途地域	準工業地域、法第22条指定地域	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年5月14日
敷地面積	10,984 m ²	作成者	三井住友建設(株)
建築面積	5,509 m ²	確認日	-
延床面積	7,592 m ²	確認者	-



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>計画建物の主用途は工場となっている。また、計画地の周囲には住宅・マンションや商業施設が多い環境である。そのため、敷地境界線沿いにある既存樹木(高木・中木)の活用、敷地内に自主管理公園(周辺住民に開放)の設置を計画している。さらに、太陽光発電システムを採用し、環境へ配慮した計画としている。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>-</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温暖化環境の向上に努めている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>太陽光発電システムや、LED照明設備を採用するなど、エネルギー面にも配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される